



持続可能な食と農業に関わる人々の 価値認識と行動様式

教育学部 社会領域 准教授 河合史子

研究シーズの概要

持続可能な食と農業に関わるテーマに関して広く取り組んでいます。人々の価値認識がどのような行動につながるのかといった視点や、農業と食に関わる多様なアクターを一体的に捉えるシステムの視点で研究・分析を行っています。

最近まで行っていた研究は、在来作物をはじめとする作物の多様性保全に関わる国内アクター（種苗会社、農家、消費者など）の価値認識や行動についての定性的な研究でした。2022年の4月から香川大学に赴任したため、香川県や四国の在来作物に関する実態調査や利用促進に関する研究も行っていきたいと考えています。また、有機農産物の国内における消費・流通実態についての研究にも取り組んでいます。



図1. 在来作物レストラン（奈良県）



図2. 在来ニンジンのタネ採り（長崎県）

食にまつわる「ストーリー」の重要性は今後さらに重要度を増していくと考えられます。どのような「ストーリー」が人々を惹きつけるのか、どのような「ストーリー」であれば付加価値を見出すのか、現在の最新の食の消費動向はどのようなになっているのか、そのようなことをぜひ地域で活動している企業や団体と連携して研究していきたいと考えています。ご興味がある方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

【利用が見込まれる分野】 ブランド化、地域活性化、飲食業、物産業など

研究者プロフィール

河合史子 / カワイアヤコ



メールアドレス	kawai.ayako@kagawa-u.ac.jp
所属学部等	教育学部 社会領域
職位	准教授
学位	博士（環境学）
研究キーワード	持続可能性、食と農業、価値観、消費行動、システム

問い合わせ番号：ED-22-002

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで
直通電話番号：087-832-1672 メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp